

ヨコハマモールド(株)CSRレポート

事業内容: タイヤ金型製造販売
敷地面積: 16,563m²
従業員数: 50人(2010年4月現在)
所在地: 〒311-3436 茨城県小美玉市上玉里2227-1
 TEL: 0299-26-1417



社長ご挨拶



伊澤 俊夫

当社は、2009年8月に、1916年にまでそのルーツをさかのぼる企業グループから横浜ゴムグループの一員となりました。茨城県の中南部、筑波山を望む霞ヶ浦北岸に位置しており、タイヤ金型の製造販売を行っています。

創業以来、温室効果ガス削減に向けた徹底した省エネ活動など、環境対応生産を実施しています。また、ゼロエミッションへの取り組みやISO14001認証取得に向けた取り組みを

通じ、従業員の環境活動に対する認識を深めています。

今後は、技術の向上や作業の効率化による省資源化・環境保全を推進し、「トップレベルの環境貢献企業」を目指して、日々の活動に取り組んでいきます。

環境への取り組み

2010年度環境方針

- (1) ヨコハマモールドは、自ら定めた環境マネジメントシステムに従い、環境経営の持続的改善を行います。
- (2) 心と技術をこめたモノづくりにより、幸せと豊かさに貢献し、社会的責任として「環境に貢献する改善」と「環境リスクの予防」を継続的に企画し、実践します。
- (3) 環境法規制とその他の環境に関する要求事項を厳守し、環境保全に取り組みます。
- (4) 限りある地球資源を守るため、そのムダ使いを防止する行動(MD)を実践し、3R(*)を推進します。
(*) Reduce: 発生抑制、Reuse: 再使用、Recycle: 再生使用
- (5) 本方針を具現化するため、目的・目標及び計画を作成し、実行します。
- (6) ヨコハマモールドで働くすべての人が、本方針を理解し行動するよう教育と啓発を行い周知徹底します。
- (7) 自然との調和・融合をもとに美しく豊かな社会形成に貢献し、地域との共生を目指します。

環境データ

2009年度の実績は以下のとおりです。なお、2010年度より、環境パフォーマンスを目標管理していきます。

- 1) 温室効果ガス排出量: 379トン- CO₂
(直接排出量45トン、買電による間接排出は334トン)
- 2) 水使用量: 1,844m³ / 年
- 3) 工場排水の水質管理

当工場は霞ヶ浦条例の基準の適用範囲です。2007年8月6日付けの条例改正以来、延べ14回の測定において、すべて条例規制値を遵守しています。

■水質関係測定データ (主要排水)

項目	霞ヶ浦 条例規制値	2009年度実績			法律名称等
		平均値	最大値	最小値	
PH		7.8	8.4	7.1	法規制対象外 (自主管理測定) (2回以上/年)
BOD濃度 (mg/l)	160	4.7	8.1	1.2	
COD濃度 (mg/l)	—	4.7	7.0	2.3	※規制値は霞ヶ浦条例 (H19.8)
SS濃度 (mg/l)	200	3.5	6.0	1.0	
全窒素濃度 (mg/l)	120	0.8	1.1	0.6	
全りん (mg/l)	16	0.07	0.09	0.04	

■GHG排出量 (t-CO₂)

	2007年度	2008年度	2009年度
ヨコハマモールド	—	—	379

2009年度よりグループ会社

安全への取り組み

横浜ゴムの安全基本方針に従い、従業員に対する職場安全衛生教育・交通安全教育を開始しました。



シートベルト点検の実施

地域社会とのコミュニケーション

2009年度にいただいたご意見

2009年度に寄せられたご意見は、特にありませんでした。